

【調査票】エスカレーターについて

項目
1 稼働台数
2 主な仕様（階段の幅、勾配、定格速度等）
3 法規制、安全基準
4 事故情報（件数、事例等）
5 現地調査（実地でのカウント）
6 意識調査（アンケート）
7 安全対策
8 安全に関する実証実験、研究など
9 エスカレーターの歩行利用に関する案内、取組、啓発活動など
10 エスカレーターの歩行利用の実態など

1 稼働台数（≒保守台数）

2023 年におけるオーストラリアのエレベーターおよびエスカレーター市場の累計設置台数は、約 19 万 7,700 台に上る。

参考資料：

・ Australia Elevators And Escalators Market - Size & Growth Forecast 2024-2029

<https://www.arizton.com/market-reports/australia-elevator-and-escalator-market>

2 主な仕様（階段の幅、勾配、定格速度等）

事前打診時にお伝えしたとおり、回答には AS 1735.5.1:2019 の参照が必須であるため、回答不可。

参考資料：

・ AS 1735.5.1:2019

[https://store.standards.org.au/product/as-1735-5-1-](https://store.standards.org.au/product/as-1735-5-1-2019?utm_source=standards.org.au&utm_medium=referral&utm_campaign=standards-catalogue)

[2019?utm_source=standards.org.au&utm_medium=referral&utm_campaign=standards-catalogue](https://store.standards.org.au/product/as-1735-5-1-2019?utm_source=standards.org.au&utm_medium=referral&utm_campaign=standards-catalogue)

3 法規制、安全基準

1 概要

ニューサウスウェールズ州(NSW)において、エスカレーターおよび動く歩道(moving walkway)は「プラント(plant)」として分類され、SafeWork NSW により労働安全衛生法令の下、規制されている。これらの設備は、適切に管理・保守されない場合、重大な事故につながるリスクがあることから、定期点検・登録・記録保持などが法的に義務づけられている。

2 主な法規制

NSW 州におけるエスカレーターの管理者に課される主な規制は以下のとおりである。

(1)登録義務

エスカレーターおよび動く歩道は「プラントアイテム」として SafeWork NSW に登録しなければならない。

(2)記録保持

すべての点検および保守作業について、記録を作成・保存しなければならない。

(3)緊急時対応

機器に故障や異常が発生した場合、運転を停止し、適切に隔離された状態で修理完了まで使用を中止する義務がある。

3 安全管理上の留意点

SafeWork NSW は、エスカレーターおよび動く歩道に関するリスクとして、以下の点を挙げている。管理者には、これらのリスクを適切に評価し、発生を予防する措置を講じる責任がある。

(1)台車やベビーカー等を運ぶ利用者による事故リスク

(2)乗降時の(転倒等による)落下リスク

(3)可動部分への巻き込まれ事故

(4)機械的故障

(5)装置の破損または機能不全

また、以下の安全対策も求められている。

－可動部分への適切なガードの設置

－乗降口における十分な照明の確保

－利用者に対する適切な利用方法を示すサインの設置

4 安全基準(オーストラリア規格)

「AS 1735」に準拠する必要がある。

参考資料：

- ・ Lifts, escalators and moving walkways

<https://www.safework.nsw.gov.au/hazards-a-z/lifts-escalators-and-moving-walkways>

- ・ Work Health and Safety Act 2011 No 10

<https://legislation.nsw.gov.au/view/html/inforce/current/act-2011-010>

- ・ Work Health and Safety Regulation 2017

<https://legislation.nsw.gov.au/view/html/inforce/current/sl-2017-0404#statusinformation>

4 事故情報（件数、事例等）

1 NSW 州交通局(Transport for NSW)

2024 年5月 31 日付「Remember it's slippery when wet! Sydney Trains injuries spike during wet weather(「濡れた床は滑りやすい」－悪天候時に負傷者急増、シドニー・トレインズが注意喚起)」より以下抜粋。

●2023 年度において、鉄道ネットワーク全体で滑倒・つまずき・転倒に関連する事故が 1,900 件以上発生し、負傷者数は約 900 人にのぼった。

●滑倒・転倒事故の大半は駅のプラットフォームやコンコースで発生しており、その多くが電車で急いで乗ろうとする利用者によるものであった(578 件)。次に多いのは階段やスロープでの事故で、こちらも移動中にデバイス(訳者注:スマートフォンなど)に気を取られたり、目的地へ急ぐ際に発生している(453 件)。

●負傷者が最も多く発生しているのはエスカレーターであり、次いで階段やスロープでの負傷が多い。2022-23 年度には、エスカレーター上で 257 件、階段・スロープで 218 件の負傷事故が確認されている。

●特にセントラル駅およびシドニーCBD(Central Business District、中央業務地区)内の主要駅では利用者数が多く、それに比例して負傷件数も高くなっている。2022-23 年度には、セントラル駅で 241 件、シティ・サークル内の駅(タウンホール駅、ウィンヤード駅、サーキュラー・キー駅など)で 123 件の負傷が記録されている。

●シドニー・トレインズのカスタマー・エクスペリエンス担当エグゼクティブ・ディレクターであるモーリーン・クラーク氏によれば、「駅構内では、急がないこと、手すりを持つこと、注意散漫を避けることを促す掲示や放送を実施しており、セントラル駅には追加のエスカレーター安全表示も設置している」という。

2 NSW 州交通局(Transport for NSW)

2024 年 8 月 5 日付「Take a step to safety as you travel on the rail network(鉄道ネットワークを安全に利用するために、一歩踏み出そう)」より以下抜粋。

●過去 1 年間で、鉄道ネットワーク上では 2,030 件の事故が発生し、エスカレーター、エレベーター、プラットフォーム、コンコース、階段、スロープ、列車の乗降時において 993 人が負傷している。

3 メルボルン都市圏鉄道(Metro Trains Melbourne)

2023 年5月 29 日付「Metro launches new escalator safety campaign(メトロ、新たなエスカレーター安全キャンペーンを開始)」より以下抜粋。

●メルボルン都市圏鉄道が公表したデータによれば、2022 年において、メルボルンの鉄道ネットワーク全体でエスカレーターに関連する滑倒・転倒事故が年間 225 件、月平均では約 20 件発生。

●2023 年に入ってから、すでに 54 件の事故が確認されている。

●同社によれば、これらの事故のうち約 45%の利用者が応急処置を要し、約 20%の利用者は救急サービスによるさらなる対応を要するものであったとの由。

●なお、一件の事故により複数の利用者が同時に負傷する事例も確認されている。

- 事故原因としては、利用者が急いで行動すること、エスカレーター・階段・ホーム上におけるマナーの欠如、およびエレベーターを利用せずに自転車、スクーター、カート等をエスカレーターや階段に持ち込む行為が挙げられている。
- また、メルボルン市内における利用者数の増加や大規模イベントの開催に伴い、ホーム上の混雑が進行しており、エスカレーター・階段・ホームにおける事故リスクが高まっていると指摘されている。
- さらに、寒冷期に入ること、これらのリスクは一層増加する傾向にあるとされている。

参考資料：

- ・ Remember it's slippery when wet! Sydney Trains injuries spike during wet weather

<https://www.transport.nsw.gov.au/news-and-events/media-releases/remember-it%E2%80%99s-slippery-when-wet-sydney-trains-injuries-spike-during>

- ・ Take a step to safety as you travel on the rail network

<https://www.transport.nsw.gov.au/news-and-events/media-releases/take-a-step-to-safety-as-you-travel-on-rail-network>

- ・ Metro launches new escalator safety campaign

<https://www.metrotrains.com.au/metro-launches-new-escalator-safety-campaign>

5 現地調査（実地でのカウント）

ウェブリサーチのみでは該当情報を得ることができなかったため、Transport for NSW 及び SafeWork NSW に照会したところ、情報へのアクセスには「政府情報公開法（Government Information (Public Access) Act、略称：GIPA 法）」に基づく正式な開示申請（審査に約 20 営業日を要する）および手数料の支払いが必要である旨の回答を得た。本調査期間内での情報取得は困難と判断し、本項目については調査対象外とした。

6 意識調査（アンケート）

ウェブリサーチのみでは該当情報を得ることができなかったため、Transport for NSW 及び SafeWork NSW に照会したところ、情報へのアクセスには「政府情報公開法（Government Information (Public Access) Act、略称：GIPA 法）」に基づく正式な開示申請（審査に約 20 営業日を要する）および手数料の支払いが必要である旨の回答を得た。本調査期間内での情報取得は困難と判断し、本項目については調査対象外とした。

7 安全対策

1 スカートブラシ

Schindler 社発行の「Escalator Skirt Brushes」より以下抜粋。

AS1735 の要件:

- ・スカート板にはディフレクターガード(スカートブラシ)を取り付けること
- ・ブラシの出幅はスカート板から 30～50mm とすること
- ・剛性部材と柔軟部材の両方で構成されていること
- ・加えて、スカート板と並行に識別用ライン(デマケーションライン)を設けることもできる



Escalator Skirt Brushes

www.au.schindler.com



2 安全用デカール

ESCALATOR SAFETY PTY LTD の製品情報を同社ホームページより以下抜粋。

●エスカレーターやトラベレーター(動く歩道)に関して、「何を持ち込めるか／持ち込めないか」についての混乱を避けるために、目を引くこのサインを設置することで、施設全体の安全性が大きく向上します。

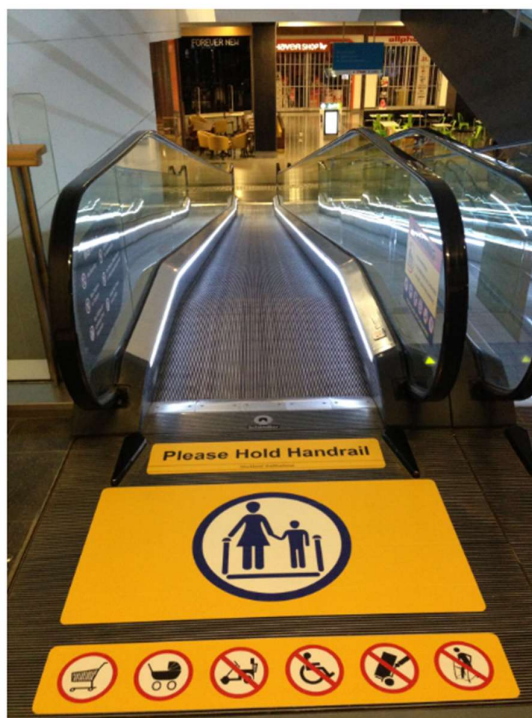
Safety Decals

LANDING PLATE DECALS

Your Centre can benefit greatly from the installation of this eye catching signage that ensures no confusion by the public over what can and cannot be taken on the Escalator or Travelator.

- Highlights Personal Safety
- Caution Icon Signage
- Slip Resistance Surface
- Easy to clean and maintain
- Facility Signage (Logo) – Optional
- Fits all Standard Landing Plates or can be customised
- Easy DIY Installation or ESS Installation is available
- Promotional/Season Decals Available (Short Term Decals)

Decals are shipped throughout Australia and New Zealand. Landing Plate Decals can be customised by adding your logo and/or a message to your customers, if provided at time of ordering.



参考資料：

- Escalator Skirt Brushes

https://au.schindler.com/content/dam/website/au/docs/service/safety-upgrade-skirt-brushes-au.pdf/jcr_content/renditions/original./safety-upgrade-skirt-brushes-au.pdf

- ESCALATOR SAFETY PTY LTD

<https://escalator-safety.com.au/products/safety-decals/>

8 安全に関する実証実験、研究など

ウェブリサーチのみでは該当情報を得ることができなかったため、Transport for NSW 及び SafeWork NSW に照会したところ、情報へのアクセスには「政府情報公開法 (Government Information (Public Access) Act、略称:GIPA 法)」に基づく正式な開示申請(審査に約 20 営業日を要する)および手数料の支払いが必要である旨の回答を得た。本調査期間内での情報取得は困難と判断し、本項目については調査対象外とした。

9 エスカレーターの歩行利用に関する案内、取組、啓発活動など

【製造事業者、業界団体】

9-1-1 製造事業者（主要なエスカレーターのメーカー）

1 KONE

エスカレーターメーカー大手の KONE が自社ホームページ上でエスカレーター・エチケットガイドを展開（以下仮訳）

エスカレーター・エチケットガイド：安全が最優先、そして常に思いやりを

「左側は歩く、右側は立つ」のルールはもう過去のもの！2024 年の新しいエスカレーター・エチケットを知って、すべての人の安全を最優先にしましょう。

エスカレーターはあちこちで見かけますが、安全かつ思いやりをもって利用できていますか？従来の「左を歩き、右に立つ」ルールは広く知られているかもしれませんが、安全専門家は今ではエスカレーター上で歩くこと自体を推奨していません。この包括的なガイドでは、その理由と、2024 年版の最新エチケットをご紹介します。

なぜ「立ち止まる」が新しい標準なのか

安全リスク：動いている段（ステップ）を歩くと、つまずき、転倒、巻き込まれなどのリスクが高まります。混雑している場所や荷物を持っているときは特にそうです。

エスカレーターデザイン：エスカレーターは歩くための手段ではありません。エスカレーターの段差は通常の階段とは高さ異なるため、歩くと歩幅が乱れてつまずきやすくなります。

混雑の緩和：歩く人がいると、混雑や渋滞が発生しやすくなります（特にラッシュ時）。立ち止まっている人を避けようとすることで、混乱やイライラの原因に。

2024 年版エスカレーター・エチケット

- 1 その場で立ち止まり、前を向く：歩いたり走ったりしない。
- 2 段（ステップ）の中央に立つ：周囲にスペースを確保しましょう。
- 3 手すりを握る：バランスを保ち、安全のために必ずつかまりましょう。
- 4 持ち物はしっかり管理：荷物は体に近づけ、つまずきの原因にならないように。
- 5 降りたらすぐに移動：出口をふさがないように。
- 6 周囲への配慮を忘れずに：助けが必要な人がいれば声をかけましょう。

追加の安全ポイント

子ども：手を添える、または手すりを使わせる。

手すりの使い方：つかまること、もたれかからない。

エスカレーターでは立ち止まることが、より安全で思いやりのある利用方法です。スピードよりも安全を優先することで、すべての人にとって快適なエスカレーター体験が実現します。

参考資料：

- ・ Escalator Etiquette Guide: Safety First, Courtesy Always
<https://www.kone.co.nz/blogs/escalator-etiquette-guide.aspx>

【製造事業者、業界団体】

9-1-1 製造事業者（主要なエスカレーターのメーカー）

また、同社は自社ホームページ上でエスカレーターの歩行利用を推奨していない。

エスカレーターは歩いて使うものか？－答えは「いいえ」である。

エスカレーターは現代のインフラに欠かせない存在であり、ショッピングセンターや交通ターミナル、オフィスビルなどで階層間のスムーズな移動を提供している。だが、よくある疑問がある——エスカレーターは歩くためのものか、それとも立って使うべきものか。KONE の公式な立場は明確である。エスカレーターは歩くことを前提としていない。安全性、設計、効率性の観点から、この推奨の根拠を示す。

安全性第一:歩行が推奨されない理由

エスカレーター上を歩くことは、事故のリスクを高める。安全の専門家は一貫して、「立ち止まり、手すりを持ち、前を向くこと」を勧めている。Safe Work Australia によれば、これらの安全措置を守ることによって、転倒やつまずき、衝突の可能性が大幅に低下するという。

歩行はバランスを崩しやすく、特に重い荷物を持っていたり、不安定な靴を履いていた、混雑した場所を通行する場合には危険である。衣服や靴が機構部に巻き込まれるリスクもある。すべての乗客の安全を守るためには、エスカレーター上では立ち止まって使用することが最も安全である。

歩くためではなく、立って使うために設計されている

エスカレーターは動く階段のように見えるかもしれないが、実際には歩行を前提としたものではない。一定速度で人を安全かつ効率的に輸送するように設計されている。エスカレーター上を歩くと、機構に過剰な負荷がかかり、摩耗や損傷を引き起こす。結果として、保守点検の頻度が増し、故障のリスクも高まる。

効率性:立ち止まることで得られる利点

多くの人は「歩いたほうが早く目的地に着ける」と考えるが、実際には、両側で立ち止まったほうが全体の輸送効率は高くなる。ロンドン交通局 (Transport for London) がホルボーン駅で実施した「立ち止まり専用」エスカレーターの試験では、ピーク時間帯において乗客の処理能力が 30% 向上した。混雑を減らし、両側のスペースを効率的に使うことで、より多くの人が速やかに移動できるようになる。

KONE の公式推奨事項

KONE は、エスカレーターを安全かつ効率的に使用するため、以下のガイドラインを推奨している。

立ち止まること:エスカレーターに運ばせる。

手すりを持つこと:バランスを保つため。

前を向くこと:スマートフォンなどの使用を避け、注意を払う。

物を巻き込ませないこと:衣服や荷物がステップや側面に触れないようにする。

停止中のエスカレーターは使わないこと:安全のため、他の経路を利用する。

これらの推奨事項を守ることで、すべての乗客にとってより安全で信頼性の高い利用体験が提供される。

エスカレーターや停止中の設備を歩行に使うことのリスク

エスカレーターを歩いて使ったり、停止中のものを階段として利用することは、便利に見えても安全上のリスクを伴い、機器の摩耗を早め、利用者の流れを妨げる。KONE のエスカレーターは、立ち止まり、手すりを持ち、注意を払って使用することにより、最適な性能を発揮するよう設計されている。安全かつ効率的な移動のために、これらの推奨に従って利用することが重要である。

参考資料：

・ Are Escalators Meant to Be Walked On?

<https://www.kone.com.au/blogs/are-escalators-meant-to-be-walked-on.aspx>

【設置者、管理者】

9－2－1 鉄道事業者

1 メルボルン都市圏鉄道(Metro Trains Melbourne)

2023 年5月 29 日付「Metro launches new escalator safety campaign(メトロ、新たなエスカレーター安全キャンペーンを開始)」より以下抜粋。

●メトロは新たな安全キャンペーンを開始し、エスカレーターや階段の利用に伴うリスクを周知し、利用者に対し自身や周囲の安全を守るための簡単な行動を呼びかけています。

●メトロによれば、都市圏鉄道で発生する事故の大半は防げるものであり、利用者の次の行動にかかっているとの由。

- ・周囲と環境に注意を払うこと
- ・焦らずに行動すること(急がない)
- ・手すりをしっかり握ること

●今回のキャンペーンでは、メトロは X 線画像を用いて、エスカレーターで実際に起こり得る深刻なケガの例を示しながら、利用者に安全な行動を促す構成になっています。

●このエスカレーター安全キャンペーンは 5 月下旬に開始されました。

参考資料：

Metro launches new escalator safety campaign

<https://www.metrotrains.com.au/metro-launches-new-escalator-safety-campaign>

【設置者、管理者】

9－2－2 商業施設（百貨店、ショッピングセンター等）

調査期間内におけるウェブリサーチでは、当該情報を特定するには至らなかった。

【行政機関】

9-3-1 国、地方自治体

Transport for NSW の Safety tips には、エスカレーターの利用時を含め、メトロや電車を安全に利用するためのアドバイスや注意事項が幅広く記載されており、以下 4 点が強調されている。

(1) 急がないでください

事前に計画を立てて、移動に十分な時間の余裕を持ちましょう。ホームや階段、エスカレーターでは走らないでください。

(2) 雨の日はスピードを落として

雨天時はホームや階段、エスカレーターが滑りやすくなることがあります。濡れている場合はスピードを落とし、十分に注意してください。

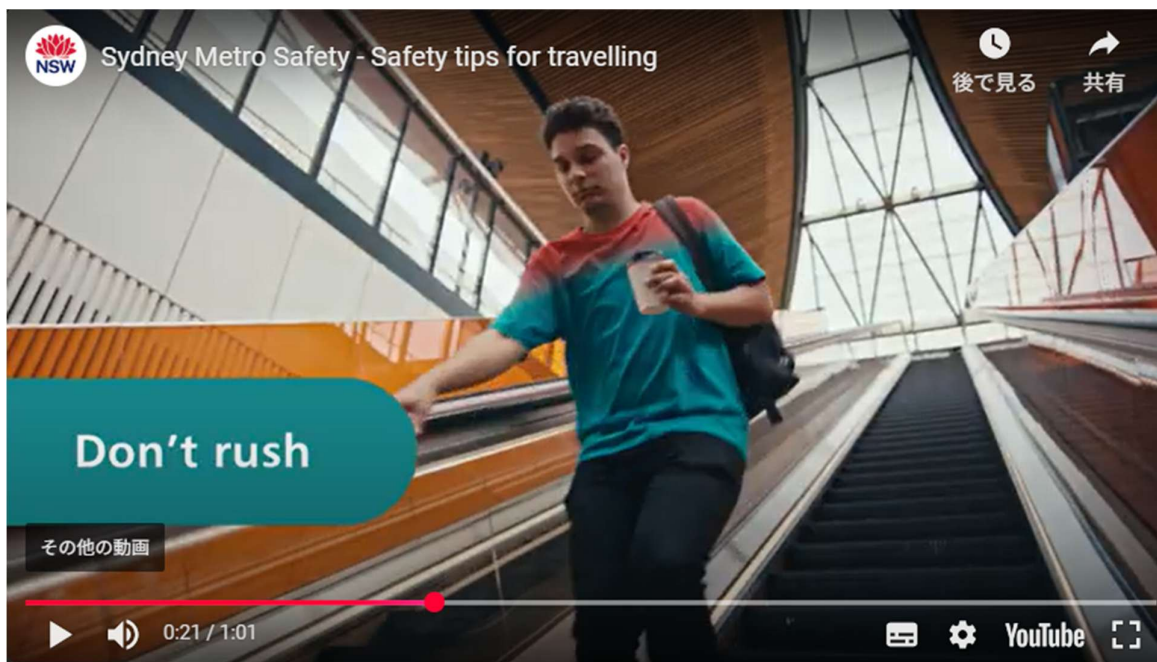
(3) 足元に注意

滑ったり、つまずいたり、転倒したりしないよう、駅構内やその周辺では足元に注意してください。特にホーム、階段、エスカレーター、そして列車の乗り降りの際は十分に気をつけましょう。

(4) ベビーカー、自転車、または荷物をお持ちの場合はエレベーターをご利用ください

安全のため、ベビーカーや自転車、荷物と一緒に移動される際はエレベーターの使用をお願いします。

なお、動画では、エスカレーターでの走行を避けるよう促す視覚的な注意喚起も行われている。



参考資料：

Safety when travelling by metro and train

<https://transportnsw.info/travel-info/safety-security/safety-when-travelling-by-metro-train>

Sydney Metro Safety tips for travelling

<https://youtu.be/nttIwdGeffs>

10 エスカレーターの歩行利用の実態など

10-1-1 エスカレーターの歩行利用の状況

Transport for NSW の Safety tips には「エスカレーターを利用する際は、左側に立ち、手すりをしっかり持ってください」との記載があるが、エスカレーターの歩行利用を禁止する案内は見当たらなかった。

参考資料：

Safety when travelling by metro and train

<https://transportnsw.info/travel-info/safety-security/safety-when-travelling-by-metro-train>

10-1-2 歩行利用が始まった経緯、歩行利用が続いている理由等

1916 年に発行された『シドニー市電気鉄道計画報告書』に、「エスカレーターの段が幅 4 フィートで、1 段あたり 1 秒間に 3 人が乗れる場合、ブラッドフィールドは、1 時間に最大 1 万 800 人を運ぶことができると見積もった。さらに、人々がエスカレーターに慣れ、立ち止まらずに歩くようになれば、その数はさらに増加すると考えた」との記載があり、1916 年時点から歩行利用が想定されていたことが読み取れる。

参考資料：

Escalation Sensation

<https://www.transport.nsw.gov.au/system/files/media/documents/2018/Escalation-Sensation.pdf>